

WPIの実施体制（概要）

参考資料3-2
科学技術・学術審議会
基礎研究振興部会（第5回）
令和2年1月17日

プログラム委員会

- 【プログラム委員会】
- 年1回開催されるプログラム委員会で各拠点のフォローアップ等を実施
- 年数回開催される国内委員会でフォローアップ方針（実施方法、実施体制、スケジュール）等を決定

- 【AD】
- WPIアカデミー拠点を統括
- 毎年度のWPIアカデミー拠点の取組状況の概要をプログラム委員会に報告
- WPIアカデミー拠点に対して、概ね3年ごとに行うサイトビジット（現地視察）の概要をプログラム委員会に報告

- 【PD及びDPD】
- PDは、プログラム全体を総括
- DPDは、PDの総括業務を補佐
- 全拠点に対する指導・助言
- 全拠点の進捗状況の把握

プログラム・ディレクター(PD) プログラム・ディレクター代理(DPD)

アカデミー・ディレクター(AD)

- 【PO】
- 担当拠点の進捗状況の把握
- 担当拠点に対する指導・助言
- WG主査として毎年サイトビジット（現地視察）を主宰し、WGの報告書作成を主導
- プログラム委員会において担当拠点の状況報告
- プログラム委員会の改善意見等に基づき、フォローアップを実施するため、PD・PO訪問を実施

- 【PDPO/ADAO会議】
- 年数回開催し、審査・評価、進捗管理業務等のフォローアップ実施方法詳細について審議

作業部会(WG)

作業部会(WG)

作業部会(WG)

プログラム・オフィサー(PO)

プログラム・オフィサー(PO)

アカデミー・オフィサー(AO)

WG委員

WG委員

WG委員

WPI 拠点

WPI 拠点

WPI アカデミー 拠点

- 【WG】
- サイトビジット（現地視察）等を通じて担当拠点の進捗状況を把握し、報告書を作成
- PO(AO)を主査として、当該拠点が対象とする分野の専門家6名程度で構成し、原則半数程度は外国人（アカデミーの場合は、専門家3名程度で構成し、日本人2名程度、外国人1名程度）

- 【AO】
- 担当拠点の進捗状況の把握
- 担当拠点に対する指導・助言
- WG主査として概ね3年毎にサイトビジット（現地視察）を主宰し、WGの報告書作成を主導
- 担当拠点の進捗状況等把握するため、AD・AO訪問を実施